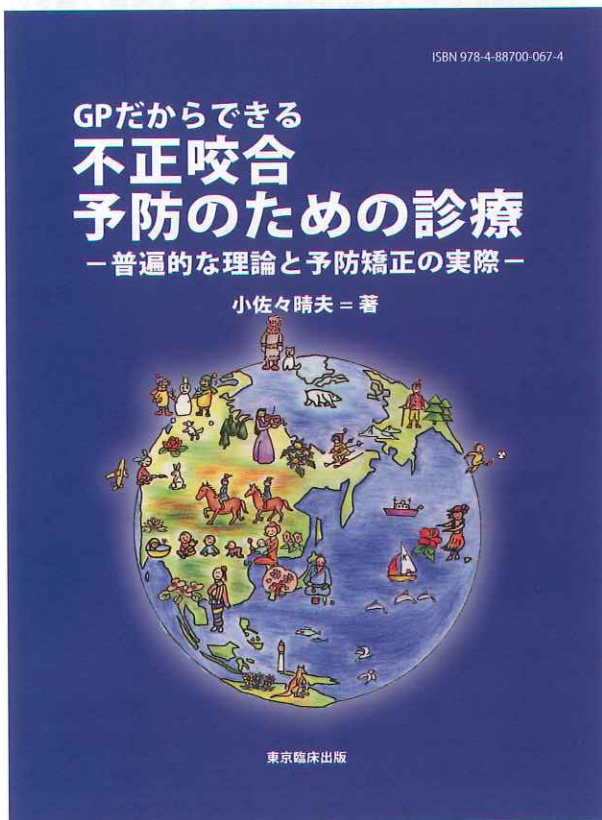


氾濫する不正咬合—GPが担うべき予防矯正がある！

GPだからできる 不正咬合予防のための診療

—普遍的な理論と予防矯正の実際—

小佐々晴夫：著



GPだからできる
不正咬合予防のための診療
—普遍的な理論と予防矯正の実際—
小佐々晴夫＝著

●規格 A4判変型 / 約 360P / オールカラー
(定価) 12,000 円＋税
発行：東京臨床出版
総発売元：株式会社モリタ

矯正治療技術の習得はできても、一般歯科医師として多忙な日常の臨床の中に、矯正治療をどのように組み込んでいくかについて解説した成書はない。全国各地で開催されている多くの矯正セミナーもテクニック偏重で、一般診療所における矯正治療の位置づけや展開について言及したセミナーは皆無である。

本書では、患者と一生つき合わなければならない一般診療所にふさわしい矯正治療を自らの判断で選択し、試行錯誤しながら一般診療所ならではの予防的矯正治療プログラムを確立した著者の実践方法を余すことなく披瀝している。

技術的には日本一般臨床医矯正研究会が推進している 3D モジュール矯正のほかにも、マルチブラケットシステム、床矯正装置、さらに最新のムーシールド、KDC プレートによる治療法も紹介している。

また、治療費の設定、インフォームドコンセントの方法、転医、専門医への紹介方法、クレーム・医療事故への対応など、矯正治療導入に際して一般歯科医師が遭遇するであろうマネージメント上のあらゆる問題の対処法についても詳細に解説している。

さらに、Dr. Beach 研修コースの元インストラクターとして、人類存続という視点から、持続可能な医療の在り方を中心に、その基本的なフィロソフィーとコンセプトについて多角的に言及している点も類書にはみられない特徴の一つである。

予防的矯正治療をこれから導入しようとしている一般歯科医師はもちろん、すでに導入しているもの問題を抱えている GP オーソドントリストにとって格好のガイドブックである。

著者略歴：1967年九州歯科大学卒業、1969年～Dr. Daryl Beach に師事、1969～75年綾部市に小佐々歯科医院開設、1971～76年 Dr. Beach 研修コースインストラクター、1975年京都市に小佐々歯科診療所開設、子どもの咬合を考える会相談役、NPO 法人 GPPJ 監事、日本小児歯科学会会員、日本矯正歯科学会会員、日本一般臨床医矯正研究会 (JOSG) 会長、成育歯科研究会会員、日本 Tip-Edge 矯正研究会 (JTSO) 監事、国際歯科学士会 (ICO) 日本支部会員、日本全身咬合学会会員、国際顎頭蓋機能学会 (ICCMO) 日本支部会員、日本禁煙推進医師歯科医師連盟会員、NPO 法人京都禁煙推進研究会副理事長、立命館小学校校医、永観堂幼稚園園医

●お申込は、お出入りの歯科商店、または最寄りの(株)モリタまで

矯正治療導入のためのテクニックとマネジメント

第一部 歯科医療を支えるコンセプト

1章 人類救済の医療

—コンセプトを支える普遍的原理・原則—

人類の存続：人類と地球のバランス / 人類存続の知恵 / 「個体の維持」と「集団の維持」

2章 フォーカスは人類の救済

—グローバルスタンダード：Beach's Concept

Beach's Concept / 医療の大原則：持続可能な医療 / 持続可能な歯科医療とは—

3章 一般臨床医が目指すべき矯正治療

—集団を救済する Minimum Goal の理解と実践—

MI (Minimum Intervention) の実践 / EBM と NBM / 西洋医療から統合医療へ / 口腔総合診療医を目指して

第二部 一般 GP のための矯正臨床実技と応用

1章 不正咬合への対応—問われる診療姿勢—

不正咬合の氾濫 / 口腔 2 大疾患 (ウ蝕、歯周病) の歴史に学ぶ / 不正咬合増加の根源は？ / GP だからこそできる不正咬合の予防 / GP の予防矯正 / GP の限界と可能性 / 歯科学 (Dentistry) から口腔科学 (Stomatology) へ / 不正咬合の捉え方：全身と咬合と不定愁訴 / 形態 (Form)、機能 (Function)、姿勢 (Posture) / 原因を追求しよう！：Form / 原因を追求しよう！：Function / 原因を追求しよう！：Posture / なぜ噛めばアゴは大きくなるのか / 食育と咬合

2章 不正咬合の診方—時間軸で不正咬合を捉える—

生理的な時間軸 / 乳歯萌出期 (0~2 歳) Hellman's DA I A ~ I C / 乳歯列期 (3~5 歳) Hellman's DA II A / 混合歯列前期 (6~8 歳) Hellman's DA II C ~ III A / 混合歯列後期 (9~11 歳) Hellman's DA III B / 永久歯列発育期 (12~14 歳) Hellman's DA III C / 永久歯列の完成期 (15~17 歳) Hellman's DA IV A / 成人期 (18 歳~) 青年期 Hellman's DA IVC ~ VA

3章 予防矯正の診査・診断

・インフォームドコンセント

予防矯正治療の基本パターン / 歯並び相談の仕方 / 予防矯正のための精密検査の仕方 / 診断資料の作成と分析 / 治療計画、治療方針の立て方 / E-Terminal Plane と Angle の分類 / 予防矯正のためのインフォームドコンセント (説明と同意)

4章 予防矯正の進め方

予防矯正治療の進め方 / 予防矯正のアポイントメント / 早期初期治療の進め方 / 第 1 期治療の進め方 / 第 2 期治療の進め方 / 矯正力と身長伸び / 虫歯予防プログラム / 予防矯正でやってはいけないこと (5 大禁忌) / 保定の進め方 / PCP の進め方 / 症例のまとめ方

5章 機能的、姿勢的問題の解決法

まずは原因療法から / 原因療法のポイント / 指しゃぶり中止指導、支援 / 爪噛み、物噛み中止指導、支援 / 開口、口呼吸の改善法 / 口唇・口腔周囲筋の強化法 / 噛み合わせの改善 / 舌癖中止支援 / 舌癖中止支援としての MFT など / 半導体レーザーによるリハビリテーション / 態癖中止指導 / 頸部筋の緩和法

6章 形態的問題の解決法

—GP が覚えておきたい基本テクニック—

予防矯正の Minimum Standard / ムーシールド / KDC プレート / 機能的顎矯正装置 / 拡大装置 / 3D モジュール矯正 / 乳歯抜歯による咬合誘導 / マルチブラケットシステム / 保定 (Retention)

7章 予防矯正のマネジメント

最適なマネジメント / 治療費の決め方 / 治療内容および治療費の説明 / 治療費の支払い方法 / 治療中断時の対応 / 医療費控除の案内 / 転医の仕方 / 専門医への紹介 / クレーム・医療事故への対応 / 予防矯正を成功させるために

「GP だからできる不正咬合予防のための診療」申込書

氏名	
医院名 (大学名)	電話 () —
お届け先	-----
歯科商店名	